

釣り銭切りよく／キャッシュレス化

消費税
10%

消費税率が切りのいい10%になり、キャッシュレス決済が広がってきたことで1円玉の需要が減っている。日本銀行によると、全国の1円玉の流通量は2002年1月の410億枚をピークに減少。19年8月は375億枚だった。8%の軽減税率が適用になる県内小売店舗では「それでもレジから1円玉はなくてはならない」との声が聞かれるが、存在感は薄れるばかりだ。

出番減る 1円玉

レジの中で存在感が薄れつつある1円玉
＝1日、静岡市葵区のOANAナガシマ静岡本店



＜メモ＞財務省は2016～18年、1円玉をそれぞれ約50万枚製造した。ただ、ほぼ全てが造幣局が販売する貨幣セット向けといい、新品の1円玉は、一般にはほとんど流通していない。11～13年も同じ状況だった。政府は25年までにクレジットカードや電子マネーなどキャッシュレス決済の比率を40%まで高める目標を掲げている。今後も1円玉の製造は抑制するとみられる。

財務省は消費税率を5%から8%に引き上げた2014年、前年の200倍以上に当たる1億2400万枚の1円玉を製造した。だが19年度の製造は100万枚の計画で、増税年度としてはかつてない少量。「貨幣の流通状況を勘案した（通貨企画調整室）」という。税率が10%になり、1円玉はこれまでより使わなくなるといいます。増税初日の1日、静岡市葵区のパソコンサンズ、同店など県内外23店を運営するOANA沼津市の安井明宏管理本部長によると、各店から本部への1円玉同営業量量は3、4年前の半分以下という。現在は決済の約4割がキャッシュレス。安

県内 8%小売店、書店には需要

井さんは「釣り銭硬貨、特に1円玉が減っていくのは必然」とみる。100円ショップ「モノ」を運営するワタナベ（静岡市葵区）の経理担当者は「釣り銭の1円玉需要は減ると予想。ただ、売り場の約4割を占める飲食料品は8%だけに「まだまだ1円玉が必要」と話す。一時的な需要増を予想する声もある。県東部には店を構えるマルサン書店沼津市の小川誠一店売部長は「9月までの新刊書籍や雑誌は、8%の税込みで1円単位の端数が出ないよう本体価格が設定されているものが多い」と指摘。こうした商品は税率10%で端数が出る。小川部長は「出版社は新刊の税込み価格を順次調整するだろうが、11月ごろまではレジで1円玉が活躍するかもしれない」と予測する。（社会部・橋爪充）

2019年
10月4日朝刊

① 1円玉の需要が減った理由を2つ書きましょう。

② 1円玉の需要が減ってもレジから1円玉をなくすることが出来ない理由は何でしょうか。

③ 「1円玉だけでなく釣り銭硬貨（5円、10円、50円、100円、500円）も需要が減る。」について、あなたの思ったことを書きましょう。

年 組 名前